

# 日本鉄鋼協会記事

## 編集委員会

**第10回和文会誌分科会** 開催日: 12月6日. 出席者: 八木主査代理, 他 18 名.

### 1. 論文審査報告

12件の報告があり, 掲載可 9 件, 修正依頼 3 件.

2. 鉄と鋼第55年第4号(3月号)掲載論文選定論文 3 件, 展望 2 件を選定した.

3. 鉄と鋼アンケート事項について

和文会誌分科会内で構成した小委員会の作成によるアンケート素案に基づき検討し, 次回分科会で決定することになった.

4. 俵論文賞選考に関する内規改正について

事務局案に基づきさらに検討を加え, 編集運営委員会で決定することになった.

**第9回欧文会誌分科会** 開催日: 11月20日. 出席者: 中村幹事, 他 9 名.

1. 11件の論文について審査報告がなされた.

2. 3 件の論文の投稿を勧誘することが決定した.

**第8回講演大会分科会** 開催日: 11月26日. 出席者: 草川主査, 他 19 名.

1. 第76回講演大会よりのアンケート集計結果報告をし, 今後の問題点を検討した.

### (1) プログラム編成

同分類講演の重複をさけるため, 事務局でおおまかな予備的まとめをやっておく.

### (2) 講演会最終日の聴講者減少の対策

できるだけ講演を早く終わるようにし, 討論会を3日目午後2件ほど編成する.

### (3) 座長について

(a) 現在の座長リストを編集委員会内で見直し補充する. 必要なら他の委員会にも問い合わせる. (b) 座長のクラスは職務・年齢にはこだわらない. (c) 座長の講演持数は3~4件ほどとし, 休憩時間に座長交替時とする.

### 2. 討論会テーマの選定

テーマのアンケートは年1回程度とし, 広い範囲の個人に聞く. 選定にあたっては他の専門組織からの参加を考えるなど, できるだけ広範囲からの意見により運営していく.

## 共同研究会 製鋼部会

**第41回部会** 開催日: 11月11~13日. 出席者: 池田部会長, 他 111 名.

### 1. 研究発表

(i) 製鋼設備に関する問題……1 件

(ii) 製鋼原料と操業に関する問題……17件

(iii) 鋼塊の欠陥防止に関する研究……1 件

(iv) 脱ガスおよび連続鑄造など新技術に関する研究

……6 件

(v) その他……2 件

### 2. 工場見学

(i) 川崎製鉄(株)水島製鉄所

(ii) 日本鋼管(株)福山製鉄所

**第4回電気炉分科会** 開催日: 11月7, 8日. 出席者: 松本主査, 他 50 名.

日本製鋼室蘭製作所において11月7日は共通テーマ, 自由テーマ合わせて 17 議題について活発に討議を行ない, 11月8日は日本製鋼室蘭製作所および富士製鉄室蘭製鉄所の工場見学を行なった.

なお, 共通テーマとしては

① 「トロイダルバーナー」「O<sub>2</sub> カutting」などの能率向上のための設備, 操業法について

② 電極管理と原単位の向上についてである.

## 鋼板部会

**第26回厚板分科会** 開催日: 11月20, 21日. 出席者: 有村主査, 他 76 名.

### 1. 研究発表

(i) 工場操業状況……各工場の操業状況を幹事がまとめて報告した.

(ii) 精整設備および作業(特に表面処理, 塗装手入れ検査)について……8 件

(iii) 各社の新鋭設備の紹介……八幡・君津, 富士・名古屋, 鋼管・福山, 神戸・加古川, の各厚板工場の紹介が行なわれた.

(iv) 厚板作業の自動化および人員削減対策……6 件

(v) その他……厚板設備の能力についての文献紹介が1件行なわれた.

### 2. 運営について

(i) 高温引張試験などの要求に対する対策……幹事よりこの問題について小委員会で検討したことおよびその結論を標準化委員会に申し込む予定である旨報告された.

(ii) 分科会のあり方……小委員会で検討することになった.

3. 工場見学……川崎製鉄(株)水島製鉄所

**第8回コールド・ストリップ分科会** 開催日: 11月, 27, 28日. 出席者: 松田主査代理, 他 62 名.

第8回コールドストリップ分科会は, 11月27日(水)および, 28日(木)に, 富士製鉄室蘭製鉄所において開催された. 第1日目は, 9時30分より, 室蘭製鉄所副所長の挨拶および分科会主査代理の挨拶があつて, 議事に入った. 今回は, 操業状況の調査および梱包関係について報告がなされ, discussion が行なわれた. 2日目は, 工場概要の説明があつた後, 室蘭製鉄所の冷延工場を中心とした見学が行なわれた.

## 鉄鋼分析部会

**第23回部会** 開催日：11月16日．出席者：後藤部会長代理，他 52 名．

1. 化学分析分科会報告 神森主査
2. 発光分光分析分科会報告 杉山主査
3. 蛍光X線分析分科会報告 川村主査
4. 鋼中非金属介在物分析小委員会報告  
神森小委員長，代理
5. 神森幹事は各種 JIS 委員会の経過概要を説明した．
6. 日本鋼管(株)のご好意により会議終了後分析関係を主として福山製鉄所の見学を行なった．

**第13回発光分光分析分科会** 開催日：11月15日．出席者：杉山主査，他 29 名．

JIS G1203, 1253 改正案の確認最終案が提出され若干の訂正を行なつて承認された．

2. 自由発表
  - (1) カントレコーダーによる高合金鋼の定量分析(日鋼)
  - (2) 真空形カントレコーダによる鉄鋼中の Mo の定量(川鉄)
  - (3) 機器分析とその自動化(川鉄)
  - (4) 東海特殊鋼のカントバック分析設備について(富士)
  - (5) カントバックによる Al 合金分析について(神鋼)
3. 分科会の今後について

JIS 改正後の方針について審議の結果，新日本鉄鋼標準試料を用いて共同実験を行ない標準試料を評価すると同時にその過程で新 JIS でも，なお不明確なまま残された点を明確化することになった．

**第14回蛍光X線分析分科会** 開催日：11月14日．出席者：川村主査，他 30 名．

1. 定量補正法の一元化について  
共同実験結果では所期の目的が達せられたか否かの判断が困難なので，実験条件をしばつて再度実験を行なうことを決定した．
2. 銑鉄，鑄鉄，炭素鋼および低合金鋼の蛍光X線分析方法 JIS 最終案が提出され承認された．
3. 自由小発表
  - (1) 蛍光X線による亜鉛中の微量 Al 定量における経時変化について 鋼管京浜
  - (2) 蛍光X線分析法による鉄鉱石中の全鉄の定量 富士広畑

**第2回化学分析分科会** 開催日：11月15日．出席者：神森主査，他 40 名．

1. JIS 鉄鉱化学分析方法の 1964 年版は改定の時期になり工技院よりの依頼があつたが ISO 鉄鉱石化学分析方法が審議途中のため見直し程度に留め当分科会で審議することになった．
2. 原子吸光分析法の実用状況を調査の結果多くの事業所で実施または計画中であつたので今後共同実験を行なうことに決定した．
3. 炭素，けい素，マンガン，りん，いおう，クロム，ひ素，シリコンウム，窒素について JIS の次期改正に備

えて検討を開始した．

**第16回鋼中非金属介在物分析小委員会** 開催日：11月14日．出席者：成田小委員長，他 14 名．

1. 第1回バナジウム化合物定量共同実験  
塩酸室温分解，酸性電解および中性電解法によつて抽出定量した V 量は各所とも非常によく一致した値を示した．
2. 第2回共同実験について  
実験要領についての検討を行ない決定した．
3. 基共研バナジウム分科会との共同研究  
鉄鋼基礎共同研究会微量元素部会，V 分科会より当小委員会に鋼中の V 化合物の分散定量法に関する共同研究の依頼があつた．  
共同実験の要旨については異議なく了承され詳細については小委員長に一任し，V 分科会と協議して決めることになった．

## 計測部会

**第41回部会** 開催日：10月31日，11月1日．出席者：池上部会長，他 72 名．

東京の農協ビルで開催され，1 日半にわたつて議題審議がおこなわれた．共通議題として「X線厚さ計の使用実績」がとりあげられ，各社より発言があつた．また，自由議題として製鉄関係 2 件，製鋼関係 1 件，圧延関係 6 件，その他 3 件，合計 12 件の発表があり，活発に討論された．

## 標準化委員会

**昭和43年度第1回 JIS 鉄鋼用語(品質)原案分科会**

開催日：10月28日．出席者：長谷川主査，他 17 名．

鉄鋼用語のうち品質用語関係を JIS 化するために，その原案検討を行なう旨主査より説明があり第1回分科会の議事に入つた．

1. 分科会でとり上げるべき用語の範囲の検討
2. 用語リストアップの各社分担検討  
以上 2 件の検討を行ない一応リストアップすべき用語の範囲および各社の分担を定め次回までに各社で用語のリストアップ(案)することにした．

**第2回 PC 鋼棒鋼線原案分科会** 開催日：11月22日．

出席者：猪股主査，他 37 名．

PC 鋼棒小委員会で検討し提出した JIS PC 鋼棒規格草案と JIS PC 鋼線，鋼より線小委員会から提出された JIS PC 鋼線，鋼より線規格草案について検討した．草案のうち一部さらにおのおの小委員会で検討し次回分科会で決定することになった．

なお，各小委員会において PC 鋼棒，鋼線の JIS 規格の記号は次の通り決定した．

| PC 鋼 棒 |         | PC 鋼線および鋼より線      |         |
|--------|---------|-------------------|---------|
| 種 類    | 記 号     | 種 類               | 記 号     |
| 丸 棒    | S B P R | 丸線 2 本よりおよび 7 本より | S W P R |
| 異 形 線  | S B P D | 異形棒               | S W P D |

**第4回 JIS スーパーフィシャルロックウェル硬さ試験方法原案分科会** 開催日: 10月22日: 出席者: 吉沢主査, 他15名.

前回に引き続き, 素案の検討を逐次行ない, 試験方法試験機および基準片のすべてについてほぼ検討が終わった. 2~3の保留事項が出, 次回に検討することになった. 次回は保留事項の検討と素案の全般的見直しを行ない, 原案を作成する予定である.

### 鉄鋼基礎共同研究会

#### 溶 鋼 溶 滓 部 会

**第1回第3分科会** 開催日: 11月30日. 出席者: 井上主査, 他 21 名.

1. 研究発表
  - i) 溶鉄中のO, N, Cの拡散に関する文献紹介……名大 井上道雄ほか
  - ii) 溶鉄中の窒素の拡散……北大 新谷光二
  - iii) 溶鉄中の水素の拡散係数……日鋼 谷口 晃
  - iv) 酸素濃淡電池による溶鉄中酸素の拡散……東大 佐野信雄
  - v) 溶融非鉄金属中の鉄の拡散……名工試 荻輪晋ほか
2. 第3分科会研究進捗状況  
井上主査より報告が行なわれた.
- 酸素拡散炉が今年一様に完成し来年1月半ばに納入の予定. その他の備品については, クーロマチックC, ガス精整装置, スライディングマシンをすでに購入した.
- 当初計画では12月半ばから予備測定を行なう予定で

あつたが, 1カ月遅れる見込みである.

#### 転 位 論 部 会

**第11回部会** 開催日: 11月18日. 出席者: 高村部会長代理, 他 6 名.

1. 金材研本多竜向委員に代わり武内朋之氏が委員に就任し紹介があつた.
2. 春の学会の転位論シンポジウムのテーマにつき話し合いを行なつた.
3. 研究発表
  - (1) Work-hardening of iron single crystals  
金材研・武内朋之
  - (2) メスパワー効果と転位の関係  
阪大 藤田英一

#### 純 鉄 部 会

**第1回部会** 開催日: 10月18日. 出席者: 草川部会長他 21 名.

今回までは純鉄グループとして運営してきたが今回から純鉄部会と部会長の挨拶の後議事に入つた.

1. 昭和電工より再電解鉄製法
  2. 石川島播磨重工業より部会から依頼した再電解鉄の脱ガスについて
  3. 金材技研より脱ガス処理純鉄の圧延結果について
- 以上3件の説明がなされ今後当部会の各委員のもとで行なわれる純鉄試料が関係機関の協力ででき上がったことを確認した.

その後各委員への試料配分の決定および各委員の43, 44年度計画の確認を行なつた.

## 最近の高温における構造物の強度設計の

### 基礎とその応用に関する講習会

|       |                                                                                  |
|-------|----------------------------------------------------------------------------------|
| 主 査   | 日本材料学会 日本材料学会関西支部                                                                |
| 協 賛   | 日本学術振興会第129委員会 日本鉄鋼協会ほか5学協会                                                      |
| 期 日   | 昭和44年2月14日(金), 15日(土)                                                            |
| 会 場   | 大阪科学技術センター 404室(4階)(大阪市西区うつぼ1丁目118)                                              |
| 聴 講 料 | 会員(協賛学協会員) 5500 円, 非会員 6500 円, 学生 4500 円(教材を含む)<br>教材のみご希望の方には1部 2500 円で頒布いたします. |
| 定 員   | 80人                                                                              |
| 申込締切  | 昭和44年2月4日                                                                        |
| 申込方法  | 受講者の氏名, 所属, 連絡先, 会員資格明記のうえ聴講料を添えて申し込んで下さい.                                       |
| 申 込 先 | 日本材料学会講習会係(京都市左京区吉田泉殿町 1-101 Tel. 761-5321)                                      |